

2020年度事業計画(案)

普及指導委員会

川北達也 印

事業計画1 指導者育成関連事業<2(1)a①,2(1)c,2(3)b②, 2(3)c>

【事業名:(1)指導者育成体系構築】<指導者規定管理>

【事業の狙い】

- ・現場の指導者が、スポーツ・インテグリティを向上させるような行動ができるように、JSAF 指導者の行動指針や行動規範を策定する。

【具体的活動内容】

- ① JSAF 指導者の行動指針を9月理事会まで策定し、承認を受け、現場の指導者に展開する。
- ② JSAF 指導者規程を9月理事会まで策定し、承認を受け、現場の指導者に展開する。

【事業名:(2)専門科目講習会の改定】<教材開発/展開>

【事業の狙い】

- ・JSPO スポーツ指導者養成制度に合わせて、「JSAF 指導者育成体系」に基づく新カリキュラムに準拠した、コーチⅡ、コーチⅣの実施プログラムを策定する。
(コーチⅡ実施は2020、コーチⅣ実施は2021年度より)

【具体的活動内容】

- ① コーチⅡの4日間(前後期)の専門科目講習会実施プログラムを5月末までに作成する。
- ② コーチⅣの9日間(前中後期)の専門科目講習会実施プログラムを3月末までに作成する。
- ③ 上記完成までの検討/調整会を計3回開催する。
- ④ 講習会に必要な機材を購入する。

【事業名:(3)次世代公認指導者の養成】<指導者講習会>

【事業の狙い】

- ・質の高い指導者を育成して加盟団体の組織活性化、およびプレイヤー育成に寄与する。

【具体的活動内容】

- ① 公認指導者養成講習会の募集、および専門科目の申請手続き、開催実施 (JSPO 委託事業)
 - ・コーチⅡ前期を11月24~25日、後期を11月28~29日に実施する。
 - ・コーチⅢ前期を12月11~13日、後期を1月29~31日に実施する。
- ② 公認指導者養成講習会コーチⅢ共通科目への講師派遣<コーチデベロッパー有資格者3名>
 - ・JSPO 主催のコーチⅢ共通科目へ講師を派遣し、本連盟の指導者講習会の質の向上を図る。
- ③ コーチングスキルアップや、情報収集のために外部講習会やセミナーに年間5回程度参加する

【事業名:(4)公認指導者の継続的レベルアップ】

【事業の狙い】

- ・加盟団体の組織活性化、および公認指導者資格保有者の学びの継続とレベルアップに寄与する。

【具体的活動内容】

- ① 専門科目指導者講師研修会の開催(JSPO 助成事業) <指導者講習会>
 - ・国体期間中もしくは10月17~18日を予定として、策定したコーチⅡ専門科目実施プログラム、および教材の展開。
- ② 更新研修の受講促進<指導者管理>
 - ・指導者資格更新に必要な更新研修実施と加盟団体主催講習会の更新研修を認定する。
 - ・研修情報の周知受講者情報の確実な登録を実現する関連委員会との仕組みを運用する。

③ 指導者リストの整備<指導者管理>

・更新まで 1.5 年以内の指導者資格保有者に対して、更新研修受講情報の提供を行う。

④ 公式サイト委員会ページの指導者への展開情報の掲載<教材開発/展開>

⑤ 公式サイト委員会ページでの指導者コミュニティの維持管理<指導者管理>

⑥ 上位団体から受けた事業の情報展開<情報展開>

・スポ庁、JOC、JSPO、JADA、JSSA 等から展開された事業案内をタイムリーに加盟する団体に展開(公式サイト/Push Mail)する。

事業計画 2 安全推進事業<2(1)c①②③>

【事業名:(5)事故報告管理】<事故報告管理>

【事業の狙い】

・JSAF 会員の安全に対する意識向上を図る。

【具体的活動内容】

① 実際に起こった事故やヒヤリ/ハット情報を収集し、その都度発生原因を明確にした情報を、加盟する団体に展開する。

【事業名:(6)安全備品の活用展開】<備品活用推進>

【事業の狙い】

・JSAF 会員の安全に対する意識向上を図る。

【具体的活動内容】

① キルコード不装備による事故映像や指導者等が乗るラバーボートのキルコードの正しい使用方法載せたガイドブックと映像を作成し、公式サイト委員会ページで展開
② 備品管理

【事業名:(7)安全基準策定展開】<安全基準>

【事業の狙い】

・JSAF 会員の安全に対する意識向上を図る

【具体的

活動内容】

① 各地の練習海面の安全基準チェックリスト策定に向けたガイダンスを作成し、自由に加工できるチェックシートフォームと一緒に公式サイト委員会ページで展開

【事業名:(8)バッジテスト資格管理】<バッジ資格管理/検定員管理/検定員管理>

【事業の狙い】

・乗艇者が安全を意識した活動ができるように、全国での活用を推進する。

【具体的活動内容】都度実施

① 各団体が行ったバッジテスト講習会及び検定試験の実施状況と合格者リスト一覧を作成する。
② 検定登録料の JSAF 納入金額(振込)と報告書の突合せを行い、金額の一致を図る。
③ 提出報告書のフォーム記載内容精度と標準フォーム使用率向上(90%以上)を進める。
④ 国体以外でバッジテスト資格を出艇条件にしている団体や運用内容を収集し、整理する。
⑤ 昨年度策定したバッジテスト検定員リストを今年度用にメンテナンスする。
⑥ バッジテスト検定員の資格要件を策定し、バッジテスト規定に追加する。
⑦ 不整備なバッジテスト規定を、11 月までに現状に即した内容に改定し、理事会にて承認を得る。

事業計画 3 セーリング普及事業<1(1)b,1(3)b,2(3)c>

【事業名:(9) Start Sailing 機会と価値の可視化】<情報展開>

【事業の狙い】

・セーリングを知る・観る・体験できる機会を可視化し、いつ、どこにいけば体験できるのかが分かるよ

うにする。

【具体的活動内容】

- ① セーリング始めるマップ／イベントカレンダーの作成
都道府県連、JODA 等の協力を得て、全国のジュニアクラブ等の場所やアクセス方法、問い合わせ先が一覧できるセーリング始めるマップ、および JSAF 主催・共催のイベントや各地での試乗会等のカレンダーを作成する。
- ② 保護者がセーリングの価値を判るようなコンテンツの作成
保護者から見て、子供にセーリングを体験させると、どのような価値があるのか、子供は何を学べるのか、親はどのような負担があるのか、などが理解できるコンテンツを作成する。
- ③ 上記①・②の配信・配布(&SNS 発信)
①・②を JSAF サイト上に掲載&エリアごとのマップ(紙・PDF)を作成し、イベント等での配信・配布を行えるようにする。(余力があれば、facebook などの SNS でも発信する)

【事業名:(10) 加盟団体普及活動支援】<加盟団体普及活動支援>

【事業の狙い】

- ・JSAF に加盟する団体が行うセーリング普及活動を支援し、各地のイベントの成功及び活動活性化を目指す。

【具体的活動内容】

- ① 「海と日本プロジェクト」展開
JSAF が主体となって企画申請と参加団体実施支援を行う。成果とメリットの可視化に注力し、参加希望団体を増やす
- ② 小中学校アプローチの標準化(モデル化)
富田常務理事実施の神奈川県事例をモデルとして、小中学校へのアプローチを標準化し、全国に展開できる準備を行う=ヒト/モノ/カネ/プログラムの算段をつける。可能であれば、新規トライアルの自治体を見つけ出す。
- ③ 全国の成功事例の特定とモデルケース化
小中学生への普及の成功事例や、高校～大学～トップアスリートまでのパスウェイを実現しているクラブやエリアの事例をピックアップして、そのノウハウを共有できるようにする。

【事業名:(11) イベント企画・展開】<イベント企画展開>

【事業の狙い】

- ・陸上で開催するイベントを行う事で、セーリング競技の認知度向上、およびファンの獲得、水辺イベントへの誘導を実現する。

【具体的活動内容】

- ① ボートショーJSAF ブースの企画と実施
ボートショー2021JSAF ブースの企画と実施を行う。特に小中学生を主対象として、来場者の DB を作成し、セーリングイベントへの継続的案内を行うとともに、セーリング始めるマップや教育教材と連動することで競技人口拡大につながるかを検証する
- ② 陸上セーリングイベントの企画と機材準備【タイプ A/B】
2019 年に豊洲で実施した陸上イベントを暫定的なモデルとしてその標準化と横展開の可能性を模索する=ヒト/モノ/カネ/プログラムの算段をつける。特に、開催場所の見極め(海が近い/子どもが集まる/親の投資意欲・能力が高い)が重要になるため、豊洲以外の開催場所の検討を行いながら、漸進的な全国展開の可能性を模索する

【事業名:(12) 育成教材の企画・開発】<育成教材開発>

【事業の狙い】

- ・スタートアップから 3 年ほどをターゲットとして、セーリングを楽しみ、上達する喜びを感じやすくする

【具体的活動内容】

※レベルの目安としては、「インターハイ出場」が出来るものを目指し、本年は情報収集と協力者探し、内容の企画に取り組む＝「教材の目次」をアウトプットとする

① 選手用教材の企画

次の3つのレベルで教材を企画する

1)スタートアップ(楽しむ)、2)基礎技術(正しく知る)、3)レーシング

② 指導者用教材の企画

上記①を支える、指導者用の教材／指導方法を言語化する

事業計画 4 国際人養成事業<2(1)b,2(3)d>

【事業名:(13) JOC国際人アカデミー派遣】<JISLA>

【事業の狙い】

・将来 JOC/NF を代表し IOC、IF/AF 等の国際スポーツ組織における役員や専門委員会委員、または国際競技大会のスポーツディレクター等として、その団体や組織の政策決定過程における活躍が期待できる者を育成する事を目的とし国際的な感覚を持ったNFの組織運営や指導体系との連携をはかる。

【具体的活動内容】

① アカデミーの募集要項をNFの加盟団体・各委員会代表者に2020年1月を目途に送付し、書類選考・面談を実施し、候補者の選定を行いJOCへ推薦する。

【事業名:(14) JOCナショナルコーチアカデミー派遣】<コーチアカデミー>

【事業の狙い】

・国際的競技水準を踏まえた強化・育成・普及ができるプロフェッショナルなコーチを育成・養成する。

【具体的活動内容】

② 日本スポーツ協会コーチIV修了者で実践経験のあるコーチを対象とし、普及指導委員会から推薦のあったコーチを選定しJOCに推薦する。開催時期は未定。

③ 募集要項が完成次第加盟団体及びホームページ等で公募する。

【事業名:(15) 女性普及拡大】<女性普及>

【事業の狙い】

・女性メンバー数の増加を目的としてレディース委員会との連携をはかる。

【具体的活動内容】

① レディース委員会で定めた目標値を基準に、JOC国際人・コーチアカデミー・普及指導委員会と相互の連携を通じて求められている国際標準を満たすべく普及活動を展開する。

② 女性指導者向けの情報を集めてホームページ等で紹介し、女性指導者の活動をサポートする。セーリングにおける女性指導者の活躍の状況を可視的に広げる。

【事業名:(16)セーリングを支える委員会活動の活性化促進】<その他>

【事業の狙い】

・他委員会や団体と協業することで、JSAF 実施事業の質的向上と委員会ノウハウ交流を目指す
また、JSAF の中長期計画の作成や事業実施に向けた活動を行う

【具体的活動内容】

① 他委員会との協業事業の拡大(セーリング普及/指導者育成/安全展開/環境保全)

② 中長期計画策定支援(ビジョン検討会/会員増強)

③ 普及指導委員会ミーティングの開催(年2回)

註：年度事業計画を文章でかつ箇条書となるように作成して下さい。